



「楽天イーグルス杯キッズベースボール」9人制ルール

■キッズベースボール大会 大会規則 -試合方法に関する事項-

- 1) 下記特別ルール以外は野球規則とする。
- 2) 試合は基本 2 イニングとする。
- 3) 攻撃はティーボール形式とし、1 番から 9 番まで連続で攻撃を行い、最終 9 番打者のプレーが終了するまでの総得点をイニングの得点とする。
- 4) 攻撃開始は、1 塁 9 番打者・2 塁 8 番打者・3 塁 7 番打者と塁を埋めた状態より始める。
- 5) 各イニングの 9 番最終打者の攻撃時は、通常の野球規則の 2 アウトの設定でプレーボールを行う。
- 6) 走者の離塁は、打者のバットにボールが接触後とする。
- 7) 空振り・三振は無しとする。
- 8) 守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げ、アピールをした場合に審判はボールデッドを宣告する。宣告時に塁間にいる選手は、元の塁に戻り試合を再開する。但し、3 塁ランナーがホームベースより半径 8m ゾーンに突入した場合適用を除外し、野球規則とする。
又、半径 8m ゾーンで作意を持ち停止した場合走塁放棄として本塁ベース上のアピールを認める。
- 9) 競技場区画線は学童の部規格とし、打撃ティースタンドをホームベースより 3m ピッチャーマウンド側に設置する。尚、外野の距離は 50m 程度とする。
- 10) ホームベースよりダイヤモンド内に半径 8m のラインを引き、円内の打球はファールボールとする。
- 11) ホームベース後方ボールデッドラインは、ホームベースより半径 8m のライン、また 1・3 塁線に平行に 8m 引いたラインをボールデッドラインとする。8m のデッドラインよりボールが出た場合は全てテイクワンベースとする。
- 12) アピールは監督のみとする。
- 13) グラウンド特別ルールは、大会審判役員において決定する。
- 14) ブロックごとにリンク戦を行う。各ブロック 1 位の勝率が同じ場合は失点の少ない方を勝ちとする。勝率、失点数が同じ場合は、得点の多い方を勝ちとする。得点も同じ場合は抽選で勝敗を決定する。

■競技運営に関する注意事項

- 1) 試合をスピーディーに行う為、選手の攻守交代はかけ足で行うこと。
- 2) メンバー表の交換は第一試合は各ブロックで行い、第二試合からは大会指定の場所で前の試合開始に合わせ行う。前の試合開始後 10 分経過して来ない場合、先に待っていたチームに攻撃の後先決定権を与える。

■審判に関する事項

- 1) 主審は、楽天イーグルス認定審判員とする。
- 2) 記録員・塁審は参加チームから選出し、1 塁側チームは記録員・2 塁塁審、3 塁側チームは 1 塁・3 塁塁審を担当とする。